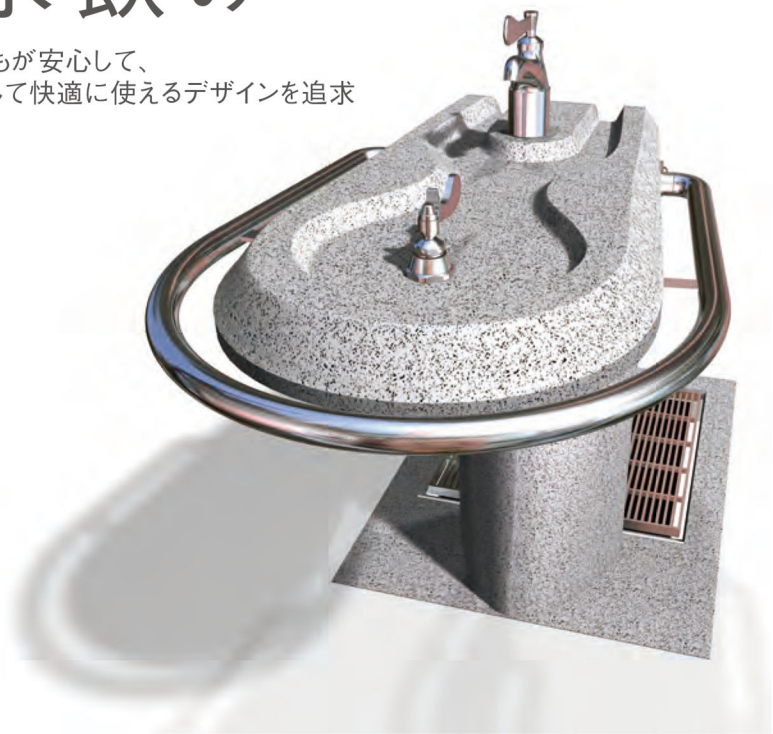
水飲み

誰もが安心して、
そして快適に使えるデザインを追求



より使いやすいデザイン

従来の水飲みは180度の半円形でした。しかし先端を太くすることにより、本体寄りつき角度を約195度とすることができ、より使いやすくなりました。手すりパイプは「全周」、パイプエンドは引っかかりのない形状です。

「水はね」を考慮に入れた
溝形状デザイン

誰もが使いやすい水栓を採用

国土交通省の「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に準拠した「レバー式立飲み水栓」をはじめ、さまざまなタイプの水栓をラインアップ。誰もが使いやすいユニバーサルデザインを追求しています。

手洗水栓

＜標準＞
レバー式手洗水栓

プッシュ式手洗水栓

横水栓

＜標準＞
自在横水栓

レバー式横水栓

自閉式横水栓

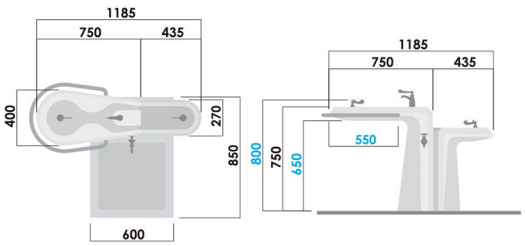
プッシュ式横水栓

＊プッシュ式水栓は、凍結の恐れがある地域ではご使用できません。凍結破壊が発生します。

FD-0023
（手洗水栓あり）
バリアフリー対応製品

サイズ:1230×930×750mm
重量（本体・溜桝）:610kg
仕様:溜枡一体成型品・人造石ブラスト仕上げ
水栓:レバー式立飲み水栓×2、自在横水栓×1
手すり:ステンレスパイプ
グレーチング（細目）:鋼製亜鉛メッキ仕上げ
（盗難防止チェーン付き）

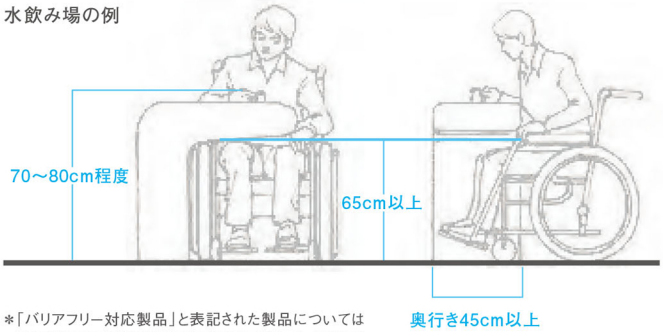
DATA



都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン

●水飲場及び手洗場は、車いす使用者が接近できるよう、使用方向150cm以上、幅150cm以上の水平部分を設ける。幼児の利用のための踏台等を置く場合は、車いす使用者の使用方向を考慮し、支障とならない場所に設置する。
●飲み口までの高さは、70～80cm程度とし、高齢者、障害者等（特に車いす使用者）が利用しやすいように下部に高さ65cm以上、奥行き45cm以上のスペースを確保する。手洗場に洗面器部分がある場合は、同様の基準とする。
●水飲場及び手洗場の周辺の床面は、段差がなく、平坦で固くしまっていて、ぬれても滑りにくい仕上げとする。
●給水栓は、レバー式、押しボタン式等の使いやすいものとすることが望ましい。

水飲み場の例



＊「バリアフリー対応製品」と表記された製品については「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」を考慮して設計されています。